令和３年度第３回北見警察署協議会議事概要

１　開催日時

令和３年12月２日（木曜日）

午後３時00分から午後４時40分までの間（警察署協議会本会議）

２　開催場所

北見方面本部303号会議室

３　出席者

⑴　協議会委員　７人（定員10人）

会　長　森　谷　幸　弘

副会長　野　口　恵　司

委　員　伊　谷　樹　里　　石　谷　忠　義

西　　和　彦　　松　田　功　一

鹿　又　百合子

⑵　警　察　署　５人

署　　長　佐　藤　伸　治　　副　署　長　大　植　美樹夫

刑事・生安官　前　野　　真　　地域・交通官　北　島　都　生

警務課長　星　澤　俊　浩

４　警察署協議会会長挨拶

５　北見警察署長挨拶

６　説明テーマ（署長）

「管内の犯罪情勢等と警察活動の概略」

「運転免許証自主返納問題」（諮問事項）

「冬型の災害・防災対策」（諮問事項）

７　委員提言及び質疑応答

○　「釣り客の迷惑行為について」（前協議会質疑への回答）

【委　員】　この時期、鮭釣りのため海岸線に訪れた釣り客が、杭を砂浜に深く埋め込んで立てたりして、地元住民が迷惑をしている。

警察で対策は講じられないのか。

【警察署】　本年、当署管内での取扱いはないのですが、オホーツクエリアでは、オホーツク総合振興局と警察が合同で釣り客に対する啓発活動を実施しております。

今年のシーズンは既に終了しておりますが、今後も関係機関と協働したパトロールなどを継続して実施してまいります。

○　「運転免許自主返納制度について」（諮問事項）

【委　員】　運転免許自主返納制度と返納に伴う各種助成制度を含めたメリットをもっと広報していったり、また特殊詐欺被害の防止広報と同じように、コンビニやバス、タクシーでの広報を進めていくなど工夫を凝らしてはどうか。

【警察署】　御指摘の広報活動については地道に継続しているところでありますが、更に工夫を凝らして、より周知できる方策を検討してまいります。

【委　員】　首都圏や関西圏の都市部と比べて北海道のような土地柄では、公共交通機関の運行数が少ないことから、年齢を重ねていっても、通院や買物で自家用車を使わざるを得ず、運転免許証と自家用車は生活の一部になってしまっている。

こうした状況での自主返納は、非常に難しい判断でもある。

【委　員】　自主返納という制度を進めていくためには、家族の協力や地域のサポートが必要であるし、運転については、自分は大丈夫だと思ってハンドルを握るけれども、年齢から来る運動能力の低下は避けられず、事故に遭う確率が高くなっている現実も理解しなければならない。

自分自身は運転に自信が持てなくなったら、自主返納を考えていかなければならないと考えている。

【警察署】　北海道において、運転免許証は、生活を営んでいくうえでの必須のアイテムとなっている側面もあり、その返納を勧めていく作業が一方的なものとならず、返納をお考えの御本人とその御家族との相互理解・支援も大切だし、更には納得できる結論を出すための時間というものも必要だと考えている。

【委　員】　運転免許証の更新に関しては、もっと厳しくするという方策も検討してはどうか。

【警察署】　更新手続きに伴う各種の検査は、免許証保有者の判断力や現状を認識できる能力などを確認するために行っています。

【委　員】　自主返納制度や返納に伴うメリット、各種助成に関する情報を得やすい方、得にくい方がいらっしゃると思う。

交通機関を安く便利に利用できる情報や、買物の宅配情報等、正しく情報が分かりやすい形で皆さんへ均等に伝えていくためには、紙面情報

やインターネットなどのあらゆる媒体を若い世代がキャッチして、返納をお考えの方々に伝えていく、そうした支援が必要になってくるのではないか。

【警察署】　御指摘のとおり、知っていただき、利用したくなる情報の発信の仕方について、関係機関の方々と一緒に考えて、より分かりやすい方法で実践していく必要があると考えております。

○　「冬型災害について」（諮問事項）

【委　員】　平成25年３月にオホーツク地方を襲った暴風雪では、晴天から一気に天候が悪化して猛吹雪となり、大きな被害が出てしまった。

　天候悪化が予測されるときは、外出を控えるとともに、普段からの備え、事前対策をしっかりしておいた方がよい。

【警察署】　警察としては、皆さんの安全を守ることが重要な責務でありますから、関係機関の方々と一緒になって、災害対策を進めてまいりたいと考えております。

○　「次回諮問事項」

【会　長】　皆様方からの意見をもとに、事務局と協議の上、決定させていただきます。

８　次回の開催予定について

令和４年３月中の予定